

九州・沖縄地区の外食産業売上高ランキング (2023年度)

2023 年度の売上高合計は前年度比 22.3%増**～ インバウンド効果などもあり、増収企業は9割超の46社を占める～**

はじめに

一般社団法人日本フードサービス協会が2024年1月に発表した2023年(令和5年)の外食産業の市場動向調査によると、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけを5類に移行するなど、コロナによる行動制限が解除され、年間を通して外食需要が回復し、合計売上高は前年比22.3%増となった。また、遡って4月には入国規制などの水際対策が終了し、訪日外国人数が回復しインバウンド需要が拡大したことも後押しした。だが、外食産業では、物価高に加え、人手不足の常態化など取り巻く環境は依然、厳しい状況が続いている。

帝国データバンク福岡支店では、企業概要データベース「COSMOS2」(約147万社収録)から、九州・沖縄地区(以下、九州)に本社を置き、外食事業を主業とする企業を抽出。売上高上位50社の2023年度(2023年4月期～2024年3月期)の売上高や税引き後利益、その伸び率などをまとめた(売上高には一部推定を含む)。

なお、本調査でいう「外食」には、レストランなど飲食店における「飲食」事業をはじめ、持ち帰り弁当や宅配サービスなど料理品小売業に分類される「中食」事業、病院・福祉施設などにおける「給食」事業も含めて集計した。

本調査は2024年1月(2022年度調査)に続く24回目。

調査結果(要旨)

- 2023年度の売上高ランキングは、ファミリーレストラン「Joyfull」を展開するジョイフルグループ(福証、大分市)が2年連続でトップ
- 2023年度の売上高伸び率ランキングは(株)古市庵プラス(福岡県久留米市)がトップ。以下、(株)ジェイシーシー(沖縄県糸満市)、(株)Be bloom(福岡市)と続いた
- 売上高上位50社の2023年度の合計売上高は前年度比22.3%増の3729億1600万円と、4年ぶりに増加した
- 50社のうち、「増収」企業は46社(構成比92.0%)となった。一方、減益となった企業は前年度と同数となる13社(構成比26.0%)にのぼった
- 倒産(法的整理のみ、負債1000万円以上)件数は、前年度比95.9%増の96件(47社増)となった。物価高やコロナ関連融資等の返済開始などが要因

九州・沖縄地区 外食産業売上高ランキング上位10社(2023年度)

順位	前年度順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
1	1	※ ジョイフルグループ各社合計	大分市	飲食	ファミリーレストラン「Joyfull (ジョイフル)」	6	59,056	26.7%
2	2	(株)一蘭	福岡市	飲食	ラーメン店「一蘭」	12	26,873	56.5%
3	3	(株)ヒライ	熊本市	中食	持ち帰り弁当店「おべんとうのヒライ」、讃岐うどん、丼処「麺許皆伝」	5	17,272	10.9%
4	6	JR九州ファーストフーズ(株)	福岡市	飲食	「ケンタッキーフライドチキン」「ミスタードーナツ」「モスバーガー」「シブチスナック」各FC	3	17,165	18.5%
5	5	(株)ウエスト	福岡市	飲食	うどん・そば店、焼肉店「WEST (ウエスト)」	2	15,683	7.5%
6	4	(株)イーティーズ	福岡県新宮町	中食	量販店内での惣菜・弁当小売	8	15,484	2.3%
7	8	(株)カの源カンパニー	福岡市	飲食	ラーメン店「一風堂」、「名島亭」	3	15,238	28.3%
8	7	東洋食品(株)	北九州市	中食	量販店内惣菜店「味処 花咲」「四季の創菜旬」「花小町」「味花」	11	14,067	4.2%
9	9	梅の花サービス(西日本・東日本・九州)	福岡県久留米市	飲食	飲食店「湯葉と豆腐の店 梅の花」	4	13,055	27.4%
10	10	なべしま(鹿児島、熊本、福岡、沖縄)	鹿児島市	飲食	「焼肉なべしま」運営	5	10,500	29.1%

〔売上高には推定値を含む〕

※ (株)ジョイフルは、有価証券報告書を転載

1. 売上高ランキング [50位までのランキング表は末尾掲載]

2023年度の売上高ランキングでトップは、**ジョイフルグループ(福証、大分市)**。ファミリーレストラン「Joyfull (ジョイフル)」を展開している。行動制限が緩和されるなか、グループ直営店舗の出店に加えて、グランドメニューの改定を2回、「ごちそうバラエティフェア」などのフェアを4回行った。また、お笑いトリオ・ロバートの秋山竜次さんをジョイフル宣伝部長に就任させ、TVCM「ジョイフル冷凍庫店店長」の放送を開始するなど積極的な集客策をとったことが功を奏し、年売上高は前期比26.7%増となる590億5600万円となった。

2位は、天然とんこつラーメン専門店を展開する**(株)一蘭(福岡市)**。期初にラーメンの価格改定を行ったほか、外国人の入国制限緩和による韓国や台湾からの観光客の来店が目立った。また、12市町村からの、ふるさと納税返礼品としての受注が増加し、各種セット商品の販売が増加。天神店や一蘭の森店の営業再開、前期に出店した静岡SBS通り店、水戸店も売上に寄与したこともあって、年売上高は前期比56.5%増となる268億7300万円となった。

3位は、持ち帰り弁当店「おべんとうのヒライ」などを展開する**(株)ヒライ(熊本市)**。新型コロナウイルス感染拡大が収束するなか、当社の中核店舗である「おべんとうのヒライ」は概ね通常営業を行った。さらに、同店舗のイートインスペースも全店舗で再開され、ディナータイムの売上が回復した。加えて、ドラッグストアやスーパーに出店を行っている「おべんとうのヒライ Jr」も集客が好調で、年売上高は前期比10.9%増となる172億7200万円となった。

2. 売上高伸び率ランキング

2022年度の売上高伸び率ランキングでトップになったのは、売上高ランキング11位の**(株)古市庵「こいちあん」プラス(福岡県久留米市)**。店舗は、「古一庵」や「梅の花」の店名で、全国の百貨店やショッピングセンター、食品スーパー内に出店している。持ち帰り寿司を主体に、おこわ、おにぎり、豆腐料理などを取り扱う。2022年5月には梅の花plusを吸収合併したため、同社の売上が加算されたことが要因。また、コロナ禍の影響が薄れ、来店客数が回復したほか、販売価格の改定で単価も上昇したこともプラスとなったことから、前期比105.2%増となった。

2位には、売上高ランキング25位の**(株)ジェイシーシー(沖縄県糸満市)**が入った。当社は、日本料理店や西洋料理店のほか、沖縄色を打ち出した飲食店の運営などを手がける。運営店舗は、SC内に出店している和食「楽庵」のほか、沖縄料理を中心とする「波照間(はてるま)」、「龍泉(りゅうせん)」などである。そのほか、FC店として「はなまるうどん」「讃岐うどんの心 つるさく」をイオン等のSCへ出店している。いずれの店舗も行動制限の緩和などで集客は好調だったことや、飲食部門以外の売上も増収となったことから、年売上高は前期比90.5%増となった。

3位には、売上高ランキング26位の**(株)Be bloom(福岡市)**が入った。当社は、九州地区内に料理の種類や客層に合わせた異なる店舗名の居酒屋展開している。店舗は「あや鶏」の店舗名に代表される九州の地鶏を用いた鶏料理をメインとした店舗のほか、「かこみ庵」に代表される九州産の素材を生かした九州郷土料理店、「八州」に代表される鍋料理を含めた和食店舗の展開を行っている。熊本県の1店舗を期中売却したが、新たに福岡県2店舗、佐賀県1店舗、長崎1店舗、鹿児島県2店舗、宮崎県2店舗の計8店舗をオープン。既存店においても新型コロナウイルス感染拡大の緩和された効果もあり、総売上高は前期比69.5%増の40億1800万円となった。

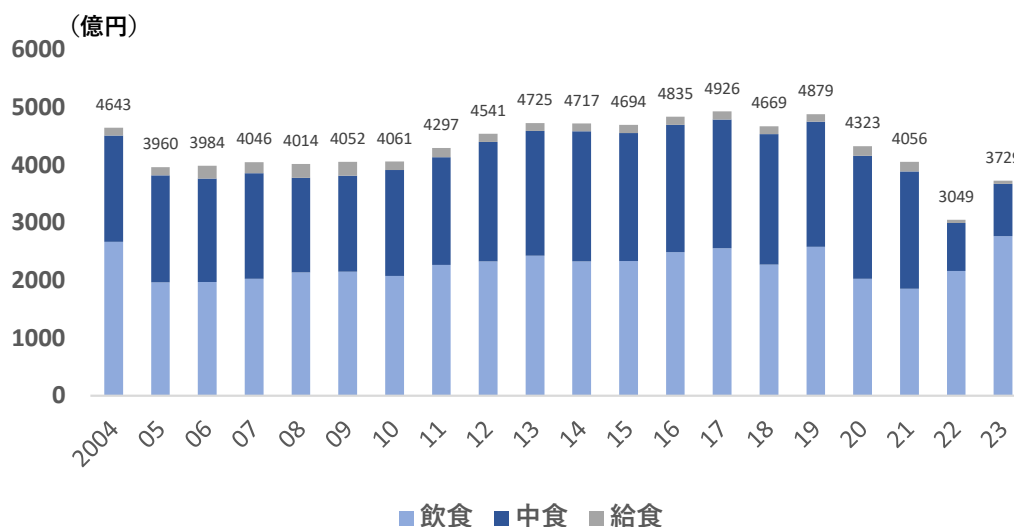
九州・沖縄地区 外食産業売上高伸び率ランキング上位10社 (2023年度)

伸び率順位	全体順位	商号	所在地	主な店舗名	事業形態	決算月	売上高(百万円)	売上高伸び率
1	11	(株)古市庵プラス	福岡県久留米市	持ち帰り寿司店「浪花古市庵」	中食	4	10,494	105.2%
2	25	(株)ジェイシーシー	沖縄県糸満市	沖縄地料理店「龍潭」「波照間」	飲食	5	4,209	90.5%
3	26	(株)Be bloom	福岡市	居酒屋「あや鶏」	飲食	2	4,018	69.5%
4	2	(株)一蘭	福岡市	ラーメン店「一蘭」	飲食	12	26,873	56.5%
5	4	JR九州フードサービス(株)	福岡市	創作料理店「うまや」	飲食	3	6,314	51.4%
6	21	(株)ラブ	福岡市	もつ鍋店「おおやま」	飲食	8	4,708	46.9%
7	50	(株)アマージュ	福岡市	「ぶあいそ」「博多くろがね」	飲食	9	2,305	36.1%
8	12	(株)イートスタイル	宮崎県小林市	「いきなりステーキ」「ポポラマーマ」	飲食	2	9,379	31.3%
9	20	九州産交リテール(株)	熊本市	SAでのレストラン経営	飲食	9	5,004	30.3%
10	10	なべしま(鹿児島、熊本、福岡、沖縄)	鹿児島市	「焼肉なべしま」	飲食	5	10,500	29.1%

3. 売上高上位 50 社の合計売上高推移

九州の 2023 年度の外食産業合計売上高合計(売上高上位 50 社)は前年度比 22.3%増の 3729 億 1600 万円と、4 年ぶりに増加となった。2023 年 1 月にプレナスが実質本店を福岡市から東京都へ移転した影響を受けた前年度から大幅に増加。コロナ禍からの回復から外食需要の高まりを見せたほか、物価高による価格改定などが背景となった。

■九州の外食産業売上高上位50社の合計売上高推移



業態別にみると、「飲食」が前年度比 28.0%増の 2766 億 4800 万円（構成比 74.2%）と 2 年連続で増加した。2023 年 5 月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「5 類」に移行。それにより、人流が戻ってきたことで外食需要も継続的に回復したと考えられる。

「中食」は同 7.7%増の 903 億 7200 万円（同 24.2%）と、プレナス移転の影響も受けた前年度から回復し、5 年ぶりの増加となった。増収要因としては、外食同様に、行動制限の緩和が進んだことで、テナントとして入居しているショッピングモール等の集客増加に起因して、増収に至ったとする理由が多かった。

■売上高上位50社の事業形態別売上高推移

		飲食	中食	給食	合計
2020年度	合計売上高	202,640	212,959	16,651	432,250
	社数	34	13	3	50
2021年度	合計売上高	185,172	203,764	16,702	405,638
	社数	33	14	3	50
2022年度	合計売上高	216,204	83,904	5,607	304,905
	社数	36	12	2	50
2023年度	合計売上高	276,648	90,372	5,896	372,916
	社数	36	12	2	50

※ 集計企業は、毎年入れ替わりがある

(単位 上段：百万円、下段：社)

4. 売上高・損益の推移

売上高上位 50 社の売り上げ動向を見ると、「増収」企業は前年度比 7 社増の 46 社となった。一方、減収企業は同 6 社減の 3 社となった（1 社は横ばい）。業態別に増収企業をみると、「飲食」が前年度比 5 社増の 36 社、中食は同 5 社増の 11 社で、両事業ともに行動制限の解除による、外食需要の増加が起因した。

■売上高上位50社の売上高/損益状況(横ばい1社)

	黒字				赤字			合計
	増益	黒字転換	減益	未詳	赤字転落	赤字縮小	未詳	
増収	18 (13)	3 (4)	13 (11)	4	2 (2)	2 (5)	4 (4)	46 (39)
減収	1 (5)	(1)	(2)		1		1 (7)	3 (9)
合計	19 (18)	3 (5)	13 (13)	4	3 (2)	2 (5)	5 (11)	49 (48)

■飲食事業の売上高/損益状況

	黒字				赤字			合計
	増益	黒字転換	減益	未詳	赤字転落	赤字縮小	未詳	
増収	11 (10)	3 (3)	10 (9)	4	2 (2)	2 (5)	4 (2)	36 (31)
減収	(3)	(1)					(1)	(5)
合計	11 (13)	3 (1)	10 (9)	4	2 (2)	2 (5)	4 (3)	36 (36)

■中食事業の売上高/損益状況

	黒字				赤字			合計
	増益	黒字転換	減益	未詳	赤字転落	赤字縮小	未詳	
増収	7 (2)	(1)	3 (1)				1 (2)	11 (6)
減収	1 (2)		(2)					1 (4)
合計	8 (4)	(1)	3 (3)				1 (2)	12 (10)

他方、損益が悪化した企業（「減益」「赤字転落」の合計）は 16 社（構成比 32.0%）で前年度比 1 社増。一方、損益が改善した企業（「増益」「黒字転換」「赤字縮小」の合計）は前年度比 4 社減の 24 社（同 48.0%）となった。行動制限の緩和が進んだことで、売上が回復してきたものの、円安進行による物価高などの影響を受けて収益性の低下に陥っている企業も散見された。

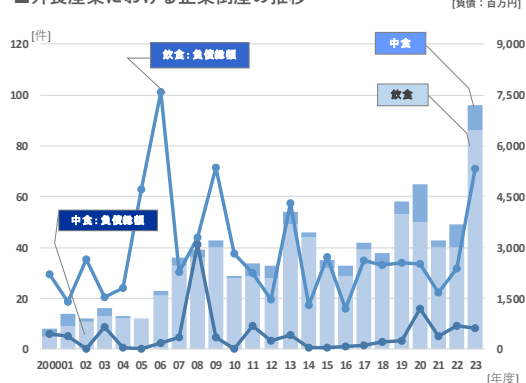
※（ ）は前年度

5. 倒産動向

九州における外食産業の倒産（法的整理のみ、負債 1000 万円以上）件数をみると、2023 年度は前年度比 95.9%増（前年度比 47 社増）の 96 件と大幅に増加した。内訳別の飲食（86 件、同 40 件増）、中食（10 件、同 1 件増）といずれも前年度を上回った。

負債総額は同 94.0%増の 59 億 6900 万円。負債額が最大となったのは、(株) セイ・エンタープライズ（熊本市南区、2023 年 5 月自己破産申請、負債約 3 億 2400 万円）。同 1 億円未満の倒産が 85 件（構成比 88.5%）と小規模倒産が中心となった。なお、2023 年度における外食産業の倒産のうち、「新型コロナウイルス関連倒産」は 66 件（前年度 43 件）発生。新型コロナ関連融資の返済負担が重荷となって倒産しているものと推察される。

■外食産業における企業倒産の推移



2023年度の倒産件数は軽96件（うち「飲食」86件、「中食」10件）

まとめ

売上高上位 50 社の合計売上高は前年度比 22.3%増の 3729 億 1600 万円と 4 年ぶりに増加した。2010 年度調査以降で過去最少となった前年度は 2021 年度まで 19 年連続トップとなっていた **(株) プレナス**が、実質本店を福岡市から東京都へ移転した影響が大きかったものの、2023 年度はコロナの「5 類」移行による外食需要の回復、インバウンド客数がコロナ前の水準に戻りつつある状況もこの結果を後押ししたものと考えられる。ただ、多くの企業での客数は 2019 年の水準には達していない。一方で、「飲食」「外食」では物価高騰による値上げから顧客の単価改善などを背景として、年売上高は前年度比増に転じていた企業も多かった。「中食」の合計売上高も前年度比 7.7%増となり、三密回避を目的に導入されたテイクアウトやデリバリーの台頭が後押しとなったことに加えて、食品スーパー、コンビニエンスストアで惣菜や弁当などの充実が増加要因であろう。

なお、前年度よりも増収となった企業は大幅に増加したものの、食材仕入価格上昇や光熱費、人件費などのコストアップもあり、「損益が改善した企業」は 4 社減の 24 社となった。商品単価アップによる顧客離れを警戒し、コスト上昇分の価格転嫁が十分ではなかったことが要因と考えられる。倒産件数は 2022 年度 (49 件) を 47 社上回り、96 件とほぼ倍増となった。うち、「新型コロナウイルス関連倒産」は 66 件発生。倒産した企業の大半が新型コロナウイルスの影響を受けていた。

これまで、政府・自治体、金融機関は実質無利子・無担保貸付や、雇用調整助成金、休業支援金・給付金をはじめとする各種資金繰り支援を進めていたことから、倒産件数は大きく抑制されていたが、大半の事業者が本格的なコロナ関連融資の返済が開始しており、今後倒産だけでなく、さらなる休業・解散の増加も予想されている。足元では、インバウンド需要等の回復もあって外食産業の客足回復がすすんでいる。一方、原材料価格や燃料費の高騰から商品の値上げが相次いで発生し、値上げによる消費者離れを懸念材料とする企業も多く存在する。飲食店を中心とする「個人関連消費」が低迷する可能性も高いことから、2024 年度も外食産業の苦境は続くと思われる、動向には注視する必要がある。

■内容に関する問い合わせ先■

株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当：秋山 進

TEL : 092-738-7779 FAX : 092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

次ページに続く

九州・沖縄地区 外食産業売上高ランキング上位11～50社(2023年度)

順位	前年度順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
11	16	(株)古市庵プラス	福岡県久留米市	中食	持ち帰り寿司店「浪花古市庵」「おにぎり畑 晴れ晴れ」「おむすび紀行」	4	10,494	105.2%
12	14	(株)イートスタイル	宮崎県小林市	飲食	「いきなりステーキ」「ポポーマーマ」「サーティ ンアイスクリーム」「ピピン亭」各FC	2	9,379	31.3%
13	11	(株)むすんでひらいて	福岡県新宮町	中食	量販店内での惣菜・弁当小売	8	8,744	7.8%
14	12	昭和フード株式会社	佐賀市	外食	「日本マクドナルド」のFC店	3	8,327	6.8%
15	13	※(株)庄屋フードシステム	長崎県佐世保市	飲食	和食レストラン「庄屋」「雑魚屋」、天ぷら専 門店「那がむら」	3	7,862	4.5%
16	15	J R九州フードサービス(株)	福岡市	飲食	創作料理店「うまや」、居食店「驛亭」、駅 構内レストラン	3	6,314	51.4%
17	18	(株)タケノ	福岡市	飲食	居酒屋「竹乃屋」「博多ビストロタケノヤ」	3	5,552	13.4%
18	23	風月フーズ(株)	福岡市	飲食	高速道路S A・空港でのフードコート・レスト ラン経営、「グルメ風月」	12	5,410	26.3%
19	16	(株)ポールスター	福岡市	飲食	「ケンタッキーフライドチキン」「サウクエイ」FC	6	5,395	4.4%
20	24	九州産交リテール(株)	熊本市	飲食	高速道路S Aでのレストラン経営、熊本城 桜の馬場城彩苑内レストラン	9	5,004	30.3%
21	26	(株)ラブ	福岡市	飲食	もつ鍋店「おおやま」	8	4,708	46.9%
22	22	(株)寿福産業	鹿児島市	飲食	和食店「ふく福」、黒豚料理店「寿庵」、ラー メ店「十八番」、回転すし店「めつけもん」	3	4,600	5.3%
23	21	九州惣菜(株)	北九州市	中食	量販店内惣菜店「彩花」	9	4,521	2.5%
24	19	(株)ブレンズ	沖縄県浦添市	中食	「ほっともっと」、「やよい軒」の運営	3	4,500	
25	42	(株)ジェイシーシー	沖縄県糸満市	飲食	沖縄地料理店「龍潭」「波照間」	5	4,209	90.5%
26	36	(株)B e b l o o m	福岡市	飲食	居酒屋「あや鷲」	2	4,018	69.5%
27	-	エイ・アンド・ダブリュ沖縄(株)	沖縄県浦添市	飲食	ファーストフード店「A & W」	6	3,700	19.4%
28	25	昭和食品(株)	北九州市	中食	量販店内惣菜店「味菜」	12	3,653	0.6%
29	-	(有)ホット・ショット	熊本市	飲食	「マクドナルド」FC	12	3,560	1.7%
30	27	(株)ディースプランニング	沖縄県那覇市	飲食	ステーキ店「やっばりステーキ」「やっばりちゃ ん」「そばよし」	7	3,395	12.5%
31	31	(株)坂本	熊本市	飲食	回転すし店「九州すし市場」「ばんばん寿 し」	7	3,264	14.8%
32	-	(株)食物語	鹿児島市	飲食	「焼肉きんぐ」、「丸源ラーメン」FC	4	3,247	271.5%
33	29	森永食研(株)	大分市	給食	老健施設、医療法人などを主要得意先と した冷凍食品の製造	3	3,210	10.2%
34	30	(有)久松	福岡県糟屋郡	中食	インターネット通信販売による冷凍おせち	4	3,063	5.4%
35	28	(株)イワタダイナース	福岡市	中食	宅配ピザ、お好み焼き店「ピザック」	2	2,920	▲2.7%

〔売上高には推定値を含む〕

順位	前年度順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
36	35	M i コーポレーション(株)	福岡市	飲食	お好み焼レストラン「どんどん亭」、ファーストフード店「どんどんまるや」	5	2,899	17.9%
37	-	(株)唐十	北九州市	中食	からあげ惣菜や弁当店「唐十」	3	2,850	1.8%
38	39	(株)ハーバーハウス	福岡市	外食	居酒屋「釣船茶屋ざうお」	9	2,821	25.8%
39	32	昭産商事(株)	北九州市	中食	惣菜店「味菜」	2	2,804	2.4%
40	38	トリゼンダイニング(株)	福岡市	飲食	水たき料亭「博多華味鳥」	9	2,800	7.7%
41	40	(株)樹元	延岡市	飲食	辛麺屋「樹元」	2	2,733	23.1%
42	33	(株)昭和イーティング	福岡市	給食	施設内の飲食サービス業務の受託運営	10	2,686	▲0.3%
43	33	(株)桜家	北九州市	飲食	「焼肉きんぐ」「かつや」「丸源ラーメン」FC	3	2,680	▲1.6%
44	37	(株)うちだ屋	福岡市	飲食	食堂「うちだ屋」「麵勝」、セルフうどん店「めん勝」	9	2,642	12.5%
45	-	虎コーポレーション(株)	宮崎県都城市	飲食	回転寿司「寿司虎」	9	2,586	138.8%
46	46	(株)雄和	熊本市	飲食	辛麺屋「樹元」	7	2,516	16.0%
47	-	(株)沖縄テクノクリエイト	那覇市	飲食	「ステーキハウス88」	7	2,400	26.3%
48	48	(株)ヤマナミ麺芸社	大分市	飲食	「太一商店」「味噌乃家」	9	2,395	15.2%
49	49	(株)O・B・U Company	福岡県筑紫野市	飲食	「松介・まつすけ」「HOTARU」	9	2,000	19.4%
50	-	(株)アマージュ	福岡市	飲食	「ぶあいそ」「博多くろがね」	9	2,305	36.1%

〔売上高には推定値を含む〕

〔前回順位に入っていない企業は前年度順位「-」としている〕

〔前年度比売上高伸び率を算出できない企業は「-」としている〕